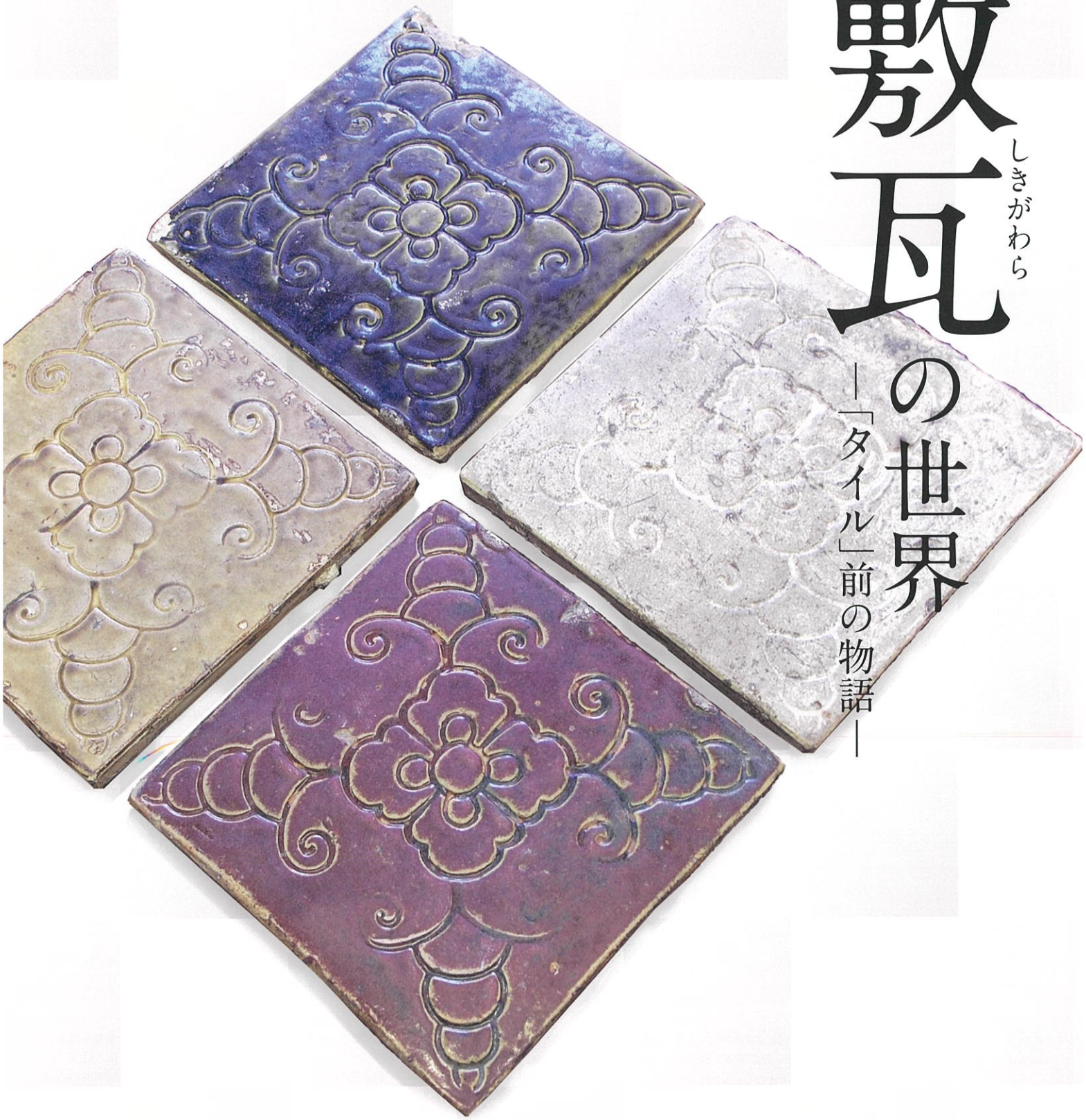
特別展

敷瓦（しきがわら）の世界

―「タイル」前の物語―



2018

6/23（土）～9/24（月・振休）

会　場　多治見市モザイクタイルミュージアム　3Fギャラリー
休　館　月曜日（祝日の場合は翌平日）
開館時間　午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

特別展

敷瓦（しきがわら）の世界

―「タイル」前の物語―

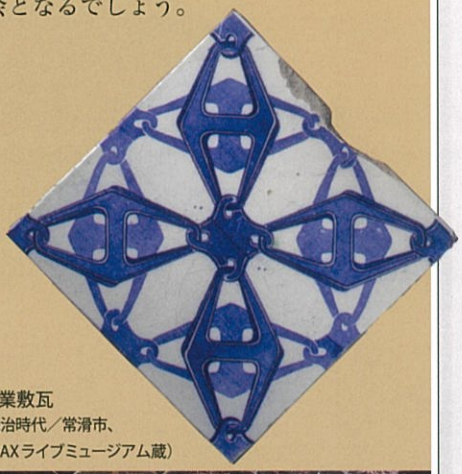


志野印花文敷瓦
（江戸時代中期／常滑市、INAXライブミュージアム蔵）

日本のタイルの前身ともいわれる敷瓦。
大陸からの影響を強く受けた仏教建築の床材に使われ、
施釉されたものは、瀬戸が中心的な生産地となってきました。
一方、茶道具の一種として愛でられる側面もあり、
さまざまな技法や形のものが作られました。
明治時代には白い化粧土をかけた陶器質の素地に、
銅版転写を施す技法が流行し、後にはマジョリカタイルのデザインなども
取り入れた「本業タイル」へと展開します。
それは西洋のタイル文化が普及しつつあるときに、
日本的な解釈で発展した「タイル」の姿でした。
本展は、地元の名家から当館に寄贈された敷瓦のお披露目と併せて、
多様な敷瓦をご覧いただく貴重な機会となるでしょう。



瑞泉寺 坐禅堂（名古屋市鳴海町）



本業敷瓦
（明治時代／常滑市、
INAXライブミュージアム蔵）



定光寺 源敬公廟（瀬戸市）



敷瓦制作（合資会社 丸岩製陶所、瀬戸市）



敷瓦制作（瀬戸本業窯、瀬戸市）



窯垣の小径資料館（瀬戸市）

関連企画

見学ツアー「敷瓦のふるさと、瀬戸をめぐる」募集人数：20名様（要予約）
7月21日（土）午前10時～　講師：服部文孝（瀬戸市美術館館長）（予定）
その他、ワークショップなどを計画中　＊詳しくはホームページなどご参考ください

関連企画はお申込みが必要です。更新情報、詳細はホームページ等をご参考ください。
各関連企画お問合せ・お申込先／多治見市モザイクタイルミュージアム 担当／村山
Tel 0572－43－5101　Fax 0572－43－5114　e-mail info@mosaictile-museum.jp

主　催＝多治見市モザイクタイルミュージアム　協　力＝INAX ライブミュージアム
開館時間＝9時～17時（入館は閉館の30分前まで）　休 館 日＝月曜日（休日の場合は翌平日）
観 覧 料＝［個人］300円、年間パスポート1,000円　［団体（20名以上）］250円　高校生以下無料
◎療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちの方、及び、その付添いの方1名は無料です。



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

〒507-0901　岐阜県多治見市笠原町２０８２番地の５
電話 0572－43－5101　FAX 0572－43－5114
URL http://mosaictile-museum.jp

アクセス：［公共交通機関］名古屋から、JR中央本線下り、多治見・中津川方面行き、多治見駅下車。多治見駅から東鉄バス（約20分の乗車）、東草口行き、羽根行きにて、モザイクタイルミュージアム下車。
［自動車］多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分。
※駐車場は笠原中央公民館などの合同駐車場です。駐車スペースに限りがありますので公共交通機関のご利用をお勧めします。

